

# 共生社会システム学会 2008 年度大会

## シンポジウムテーマ

# 地球温暖化と共生社会

7月26日(土) 東京農工大学小金井キャンパス

### 大会プログラム

#### 午前の部

9:00 受付開始(講義棟1階ロビー)

9:30 ~ 11:30 個別報告

#### 午後の部

13:00 ~ 17:00 シンポジウム「地球温暖化と共生社会」(講義棟 L0026)

座長:(以下敬称略)

堀尾正韜(JST 社会技術センター)・平田豊(東京農工大学)

報告者:

三村信男(茨城大学)「地球温暖化・気候変動の影響評価」

鳥谷均(農業環境技術研究所)「地球温暖化の農業生産に及ぼしている影響」

古沢広祐(国学院大学)「グローバル化と地球温暖化」

17:00 ~ 18:00 総会

18:00 ~ 20:00 懇親会

### 「共生社会システム学会」2008 年度大会シンポジウムの趣意

2007 年度のノーベル平和賞にアル・ゴア元米副大統領と IPCC (気候変動に関する政府間パネル) が選ばれたことに象徴されるように、地球温暖化対策は人類が協力して取り組むべき緊急の課題として認識されつつある。また、日本政府も本年 7 月の洞爺湖サミットに向けて、より積極的な温暖化対策を提起しようとする準備をすすめている。

しかしながら、日本は国民への意識啓発と技術開発の面で進んだ実績をもっているものの、政府全体のビジョンと「社会経済的な仕組みをつくること」において遅れをとっている状況にある。こうしたなか、地球温暖化問題を解決する社会システムのあり方を、共生の視点から問い直すことの意義は大きいといえる。

そこで、本シンポジウムでは地球温暖化がもたらす地球環境への影響を確認するとともに、とりわけ農業・食糧生産を中心に国民生活に何が起こっているのかを理解し、地球環境問題に関連した持続可能な発展と社会経済的な転換の可能性について議論したい。

大会担当理事： 朝岡幸彦・野見山敏雄

大会参加費： 一般会員 2000 円、非会員 2500 円、学生 1000 円

懇親会費： 一般(会員・非会費とも)4000 円、学生 2000 円

問い合わせ先： 地区担当理事 清水本裕 (東京農工大学)

電話/FAX 042-388-7864 e-mail honyu@cc.tuat.ac.jp

詳細は学会ホームページをご参照下さい。 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aks/>